

平成26年度
全国学力・学習状況調査結果について

平成26年9月22日（月）

山口県教育庁義務教育課

目 次

- 1 教科に関する結果 P 1
 - ① 全体の結果
 - ② 各教科の結果
 - ③ 具体的な問題と解答状況
- 2 質問紙調査の結果 P 30
 - ① 児童生徒質問紙
 - ② 学校質問紙

《平成26年度全国学力・学習状況調査の概要》

- 目 的
 - ・義務教育の機会均等と水準の維持向上の観点から、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、改善を図る。
 - ・各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、改善を図るとともに、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
 - ・各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 調査期日 平成26年4月22日（火）
- 調査方式 悉皆調査
- 実施学校数・児童生徒数（山口県）
 - 【小学校6年】公立小学校298校、特別支援学校1校 11,863人
 - 【中学校3年】公立中学校151校、中等教育学校1校、特別支援学校3校 11,729人
- 調査内容
 - ① 教科に関する調査（国語、算数・数学）
 - ・問題A：主として「知識」に関する問題
 - ・問題B：主として「活用」に関する問題
 - ② 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
 - ・児童生徒に対する調査
 - ・学校に対する調査

平成26年度全国学力・学習状況調査結果について

1 教科に関する結果

① 全体の結果

- 平均正答率を山口県と全国とで比べると、小・中学校ともに、国語、算数・数学のA・Bの全区分で全国平均を上回る結果である。

② 各教科の結果

ア 全国の平均正答数、平均正答率との比較

【小学校】

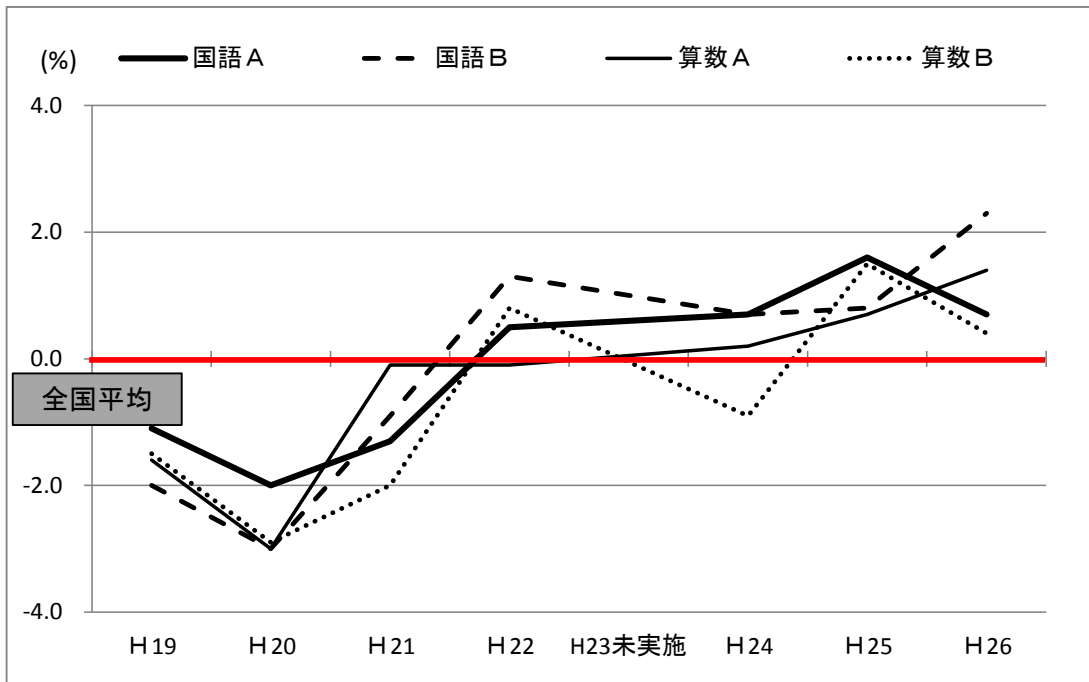
	平均正答数 (問)		平均正答率 (%)		
	山口県	全 国	山口県	全 国	全国との比較
国語A	11.0/15	10.9/15	73.6	72.9	+0.7
国語B	5.8/10	5.5/10	57.8	55.5	+2.3
算数A	13.5/17	13.3/17	79.5	78.1	+1.4
算数B	7.6/13	7.6/13	58.6	58.2	+0.4

【中学校】

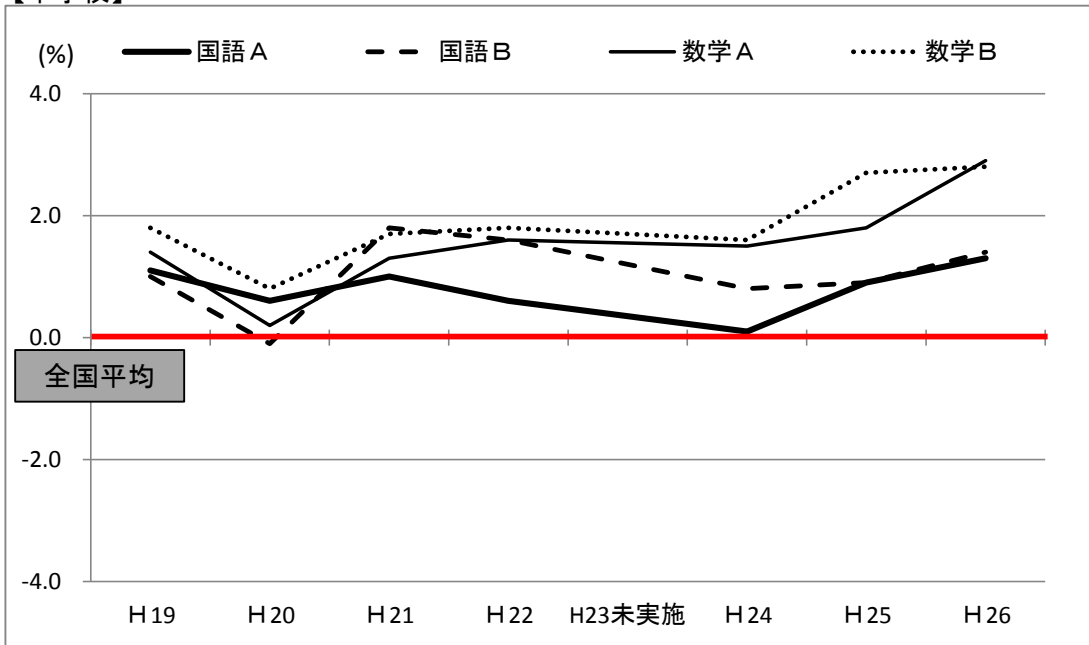
	平均正答数 (問)		平均正答率 (%)		
	山口県	全 国	山口県	全 国	全国との比較
国語A	25.8/32	25.4/32	80.7	79.4	+1.3
国語B	4.7/9	4.6/9	52.4	51.0	+1.4
数学A	25.3/36	24.3/36	70.3	67.4	+2.9
数学B	9.4/15	9.0/15	62.6	59.8	+2.8

イ 全国の平均正答率との経年変化

【小学校】



【中学校】



※ 縦軸は、山口県と全国の平均正答率の差(%)を表している。

【参考】過去の調査での平均正答数及び平均正答率

- ※ 平成23年度は中止。
- ※ 平成24年度は理科を実施。
- ※ 平成22年度、平成24年度については、文部科学省は、抽出調査であることを踏まえ、「平均正答率（推計値）」と誤差を含めた幅をもった数値「平均正答率の95%信頼区間」を併せて公表している。

【平成25年度】

小学校	平均正答数（問）		平均正答率（％）	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国語A	11.6/18	11.3/18	64.3	62.7
国語B	5.0/10	4.9/10	50.2	49.4
算数A	14.8/19	14.7/19	77.9	77.2
算数B	7.8/13	7.6/13	59.9	58.4

中学校	平均正答数（問）		平均正答率（％）	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国語A	24.7/32	24.4/32	77.3	76.4
国語B	6.1/9	6.1/9	68.3	67.4
数学A	23.6/36	22.9/36	65.5	63.7
数学B	7.1/16	6.6/16	44.2	41.5

【平成24年度】

小学校	平均正答数（問）		平均正答率（95%信頼区間）（％）	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国語A	14.0/17	13.9/17	82.3 (81.7~82.9)	81.6 (81.4~81.7)
国語B	6.2/11	6.1/11	56.3 (55.3~57.4)	55.6 (55.4~55.8)
算数A	14.0/19	13.9/19	73.5 (72.6~74.4)	73.3 (73.1~73.5)
算数B	7.5/13	7.7/13	58.0 (57.0~59.1)	58.9 (58.7~59.1)
理 科	14.7/24	14.6/24	61.2 (60.3~62.2)	60.9 (60.8~61.1)

中学校	平均正答数（問）		平均正答率（95%信頼区間）（％）	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国語A	24.1/32	24.0/32	75.2 (74.7~75.8)	75.1 (75.0~75.2)
国語B	5.8/9	5.7/9	64.1 (63.4~64.8)	63.3 (63.2~63.4)
数学A	22.9/36	22.4/36	63.6 (62.8~64.4)	62.1 (62.0~62.3)
数学B	7.6/15	7.4/15	50.9 (49.8~51.9)	49.3 (49.2~49.5)
理 科	13.7/26	13.3/26	52.6 (51.9~53.3)	51.0 (50.9~51.1)

【平成22年度】

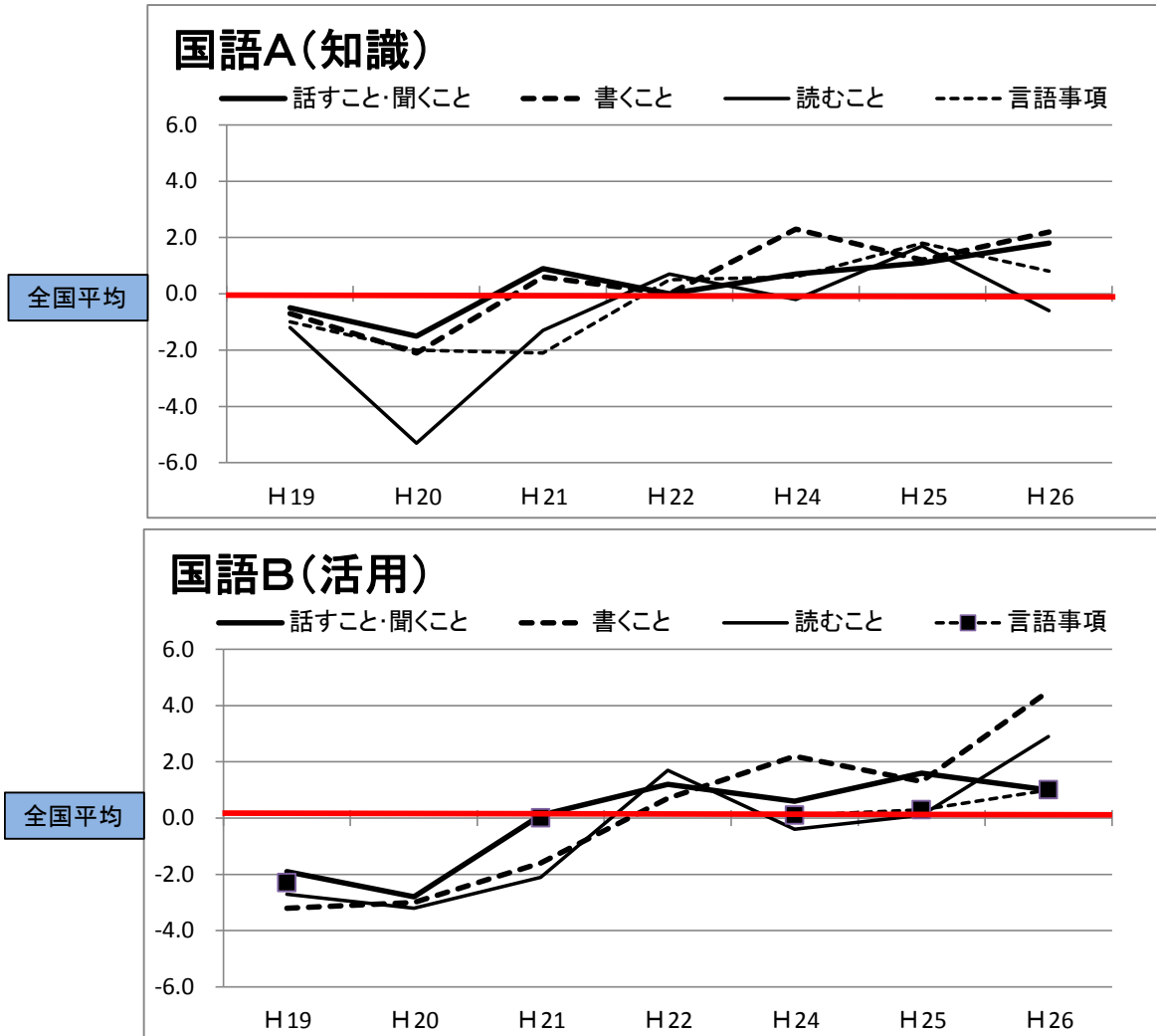
小学校	平均正答数（問）		平均正答率（95%信頼区間）（％）	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国語A	12.6/15	12.5/15	83.8 (83.2~84.5)	83.3 (83.2~83.5)
国語B	7.9/10	7.8/10	79.1 (78.1~80.2)	77.8 (77.7~78.0)
算数A	14.1/19	14.1/19	74.1 (73.2~74.9)	74.2 (74.0~74.4)
算数B	6.0/12	5.9/12	50.1 (49.2~51.0)	49.3 (49.1~49.5)

中学校	平均正答数（問）		平均正答率（95%信頼区間）（％）	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国語A	26.5/35	26.3/35	75.7 (75.0~76.4)	75.1 (75.0~75.2)
国語B	6.7/10	6.5/10	66.9 (66.0~67.9)	65.3 (65.1~65.5)
数学A	23.8/36	23.3/36	66.2 (65.2~67.3)	64.6 (64.4~64.8)
数学B	6.3/14	6.1/14	45.1 (43.9~46.3)	43.3 (43.1~43.5)

ウ 領域別平均正答率の全国との比較【小学校】

〔国語〕

国語「知識」に関する問題について、「読むこと」以外の領域で全国平均を上回っている。また、国語「活用」に関する問題について、すべての領域で全国平均を上回っており、「書くこと」に大きな伸びが見られる。



〔国語A:主として「知識」に関する問題〕

領域	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26
話すこと・聞くこと	-0.5	-1.5	0.9	0.0	0.7	1.1	1.8
書くこと	-0.7	-2.1	0.6	0.0	2.3	1.2	2.2
読むこと	-1.2	-5.3	-1.3	0.7	-0.2	1.7	-0.6
言語事項	-1.0	-2.0	-2.1	0.5	0.6	1.8	0.8

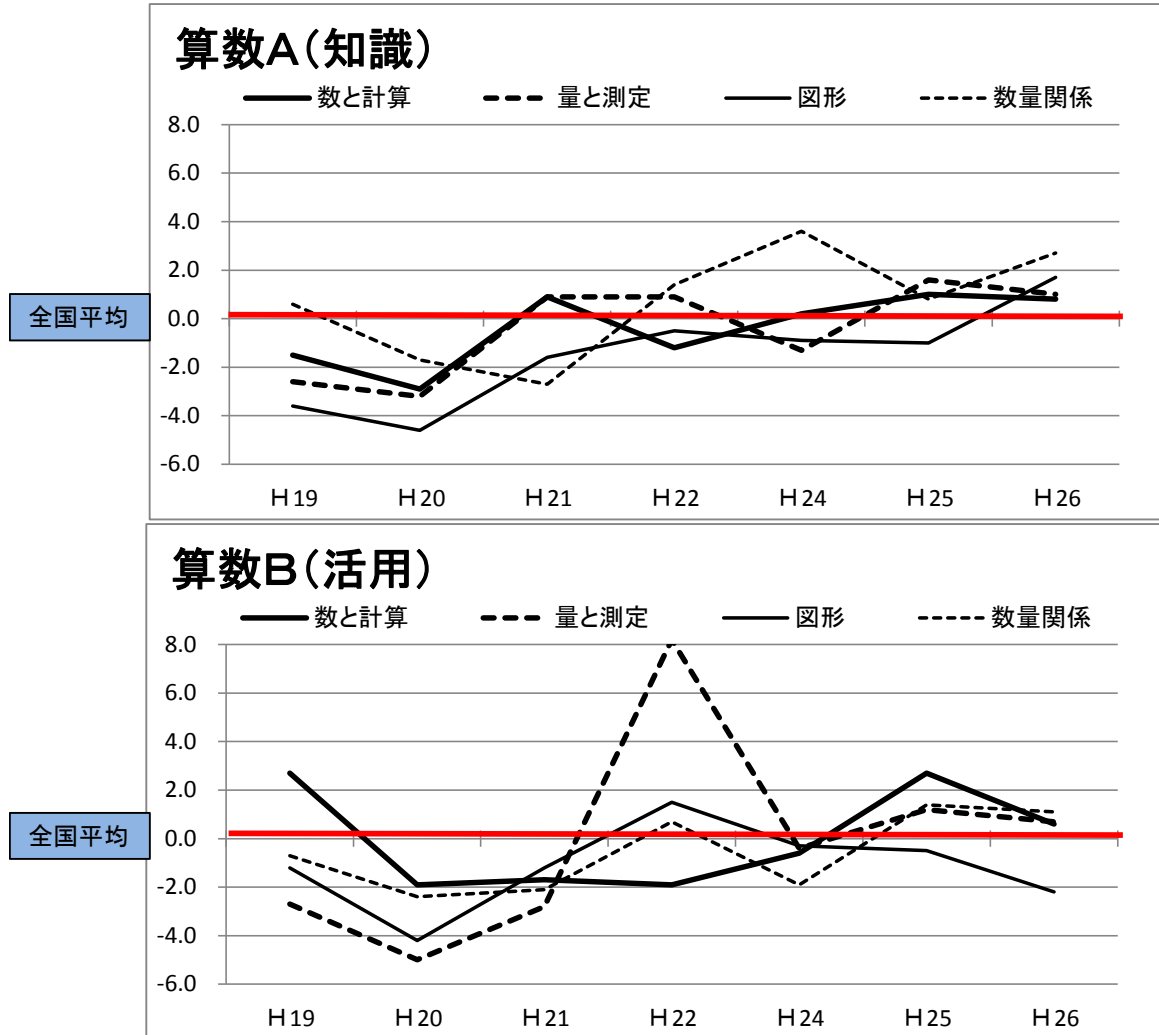
〔国語B:主として「活用」に関する問題〕

領域	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26
話すこと・聞くこと	-1.9	-2.8	0.1	1.2	0.6	1.6	1.0
書くこと	-3.2	-3.0	-1.6	0.7	2.2	1.3	4.5
読むこと	-2.7	-3.2	-2.1	1.7	-0.4	0.1	2.9
言語事項	-2.3	0.0	0.0	0.1	0.3	1.0	1.0

※ 言語項目とは、古典、文法、漢字・ローマ字、書写等に関する内容。平成24年度からは「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」。

[算数]

算数「知識」に関する問題については、すべての領域で全国平均を上回っている。「図形」は初めて全国平均を上回った。また、算数「活用」に関する問題については、「図形」以外の領域で全国平均を上回っているものの、全国平均との差が小さくなっている。



[算数A:主として「知識」に関する問題]

領域	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26
数と計算	-1.5	-2.9	0.9	-1.2	0.2	1.0	0.8
量と測定	-2.6	-3.2	0.9	0.9	-1.3	1.6	1.0
図形	-3.6	-4.6	-1.6	-0.5	-0.9	-1.0	1.7
数量関係	0.6	-1.7	-2.7	1.4	3.6	0.8	2.7

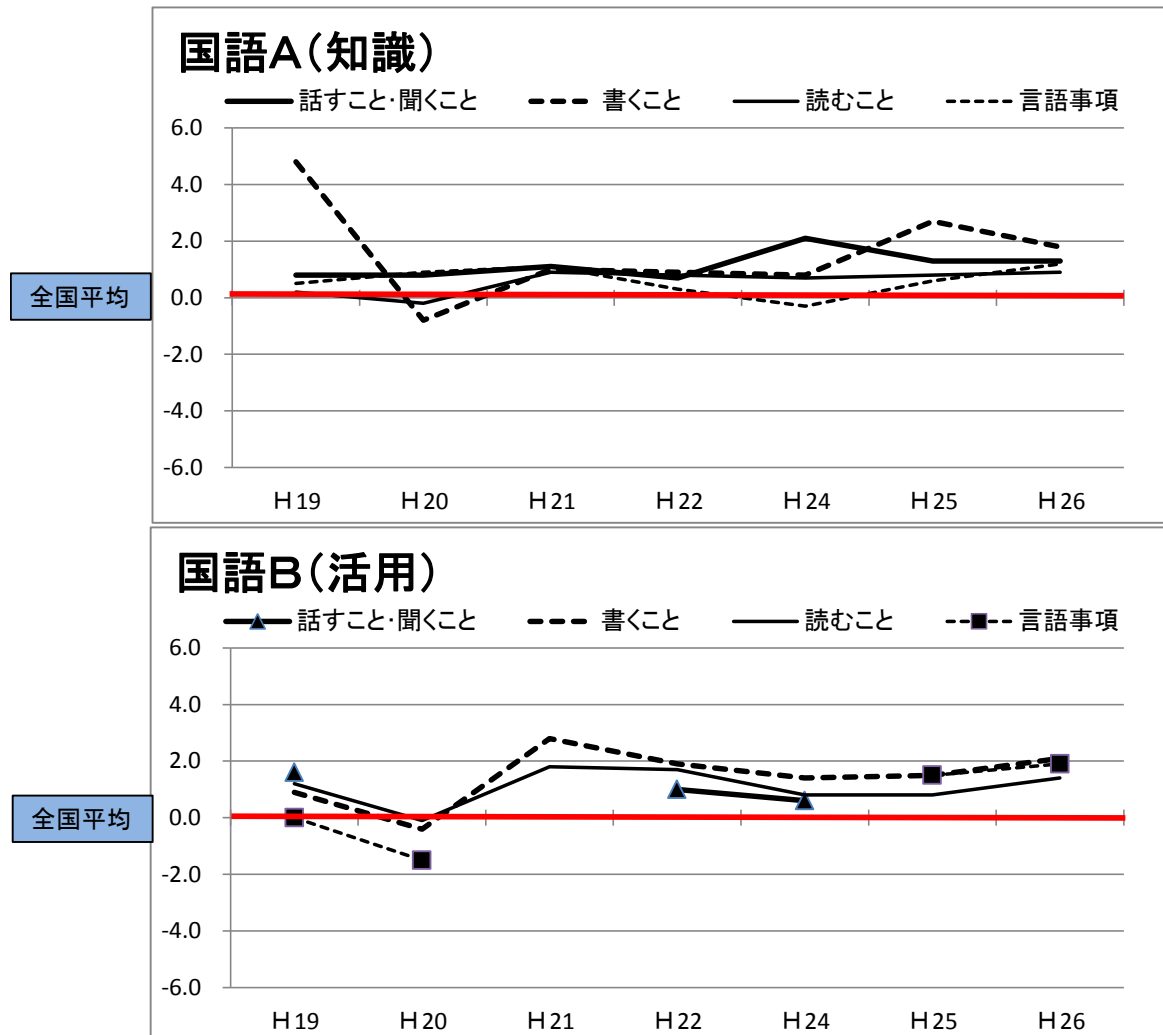
[算数B:主として「活用」に関する問題]

領域	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26
数と計算	2.7	-1.9	-1.7	-1.9	-0.6	2.7	0.6
量と測定	-2.7	-5.0	-2.8	8.2	-0.4	1.2	0.7
図形	-1.2	-4.2	-1.2	1.5	-0.3	-0.5	-2.2
数量関係	-0.7	-2.4	-2.1	0.7	-1.9	1.4	1.1

エ 領域別平均正答率の全国との比較【中学校】

〔国語〕

国語「知識」に関する問題について、すべての領域で全国平均を上回っている。また、国語「活用」に関する問題について、すべての領域で全国平均を上回っている。



〔国語A:主として「知識」に関する問題〕

領域	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26
話すこと・聞くこと	0.8	0.8	1.1	0.7	2.1	1.3	1.3
書くこと	4.8	-0.8	1.0	0.9	0.8	2.7	1.8
読むこと	0.2	-0.2	0.9	0.8	0.7	0.8	0.9
言語事項	0.5	0.9	1.1	0.3	-0.3	0.6	1.2

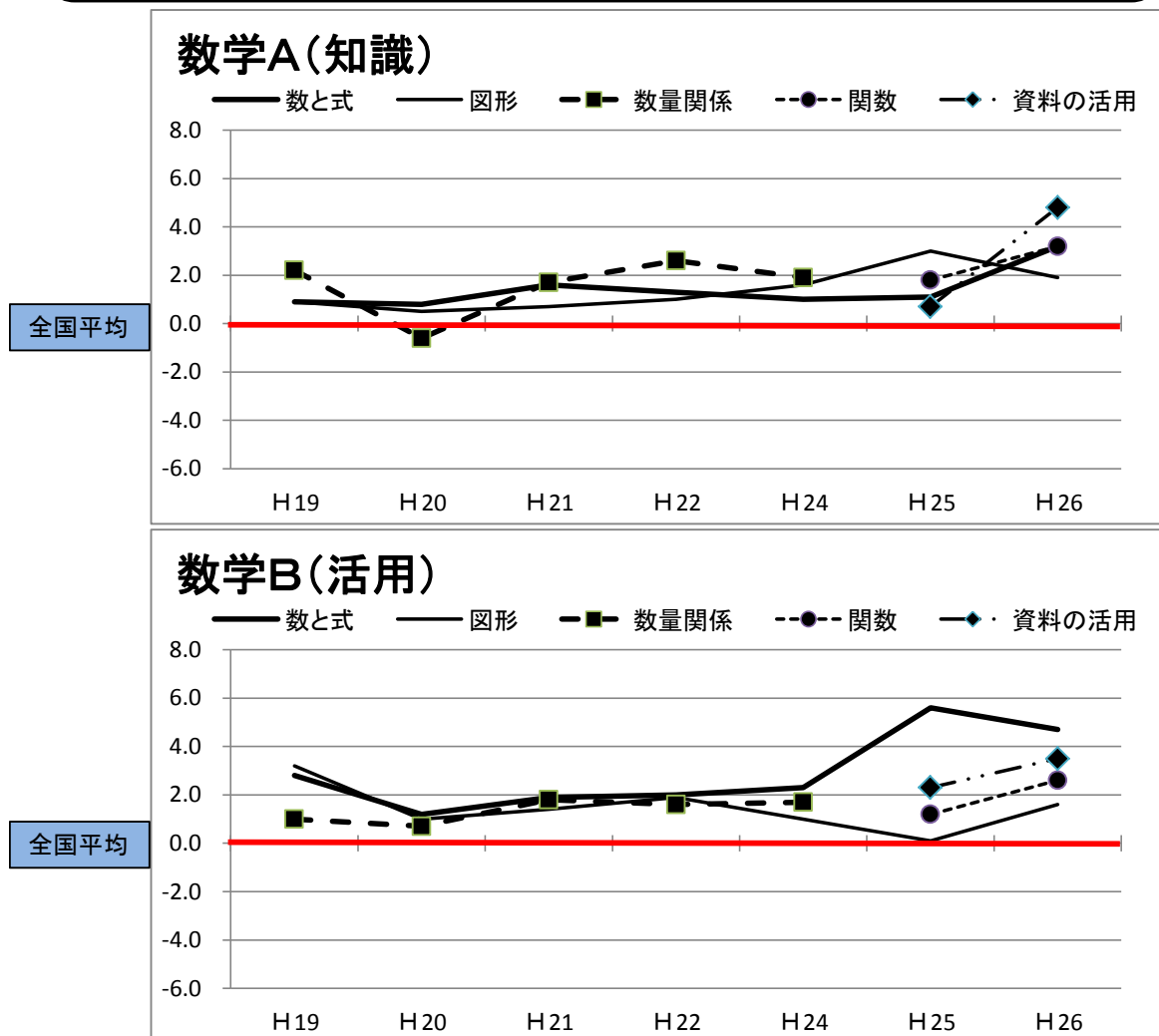
〔国語B:主として「活用」に関する問題〕

領域	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26
話すこと・聞くこと	1.6	/	/	1.0	0.6	/	/
書くこと	0.9	-0.4	2.8	1.9	1.4	1.5	2.1
読むこと	1.2	-0.1	1.8	1.7	0.8	0.8	1.4
言語事項	0.0	-1.5	/	/	/	1.5	1.9

※ 言語項目とは、古典、文法、漢字・ローマ字、書写等に関する内容。平成25年度からは「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」。

[数学]

数学「知識」に関する問題については、すべての領域で、全国平均を上回っている。特に「資料の活用」に伸びが見られる。また、数学「活用」に関する問題については、すべての領域で全国平均を上回っている。



[数学A:主として「知識」に関する問題]

領域	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26
数と式	0.9	0.8	1.6	1.3	1.0	1.1	3.2
図形	0.9	0.5	0.7	1.0	1.6	3.0	1.9
数量関係	2.2	-0.6	1.7	2.6	1.9	1.8	3.2
関数	2.2	-0.6	1.7	2.6	1.9	0.7	4.8
資料の活用	2.2	-0.6	1.7	2.6	1.9	0.7	4.8

[数学B:主として「活用」に関する問題]

領域	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26
数と式	2.8	1.2	1.9	2.0	2.3	5.6	4.7
図形	3.2	1.0	1.4	1.9	1.0	0.1	1.6
数量関係	1.0	0.7	1.8	1.6	1.7	1.2	2.6
関数	1.0	0.7	1.8	1.6	1.7	2.3	3.5
資料の活用	1.0	0.7	1.8	1.6	1.7	2.3	3.5

※「数量関係」の領域は、平成25年度から「関数」と「資料の活用」の2領域に分けられている。

オ 正答数ごとの分布

【小学校 国語】

- 「知識」に関する問題については、ほぼ全国と同様の分布状況にあるが、全国と比べ正答数の多い児童の割合がやや高い。
- 「活用」に関する問題については、全国と比べ正答数の多い児童の割合が高く、正答数の少ない児童の割合が低い。

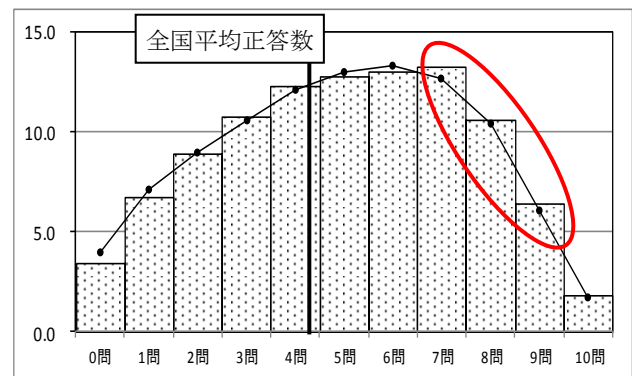
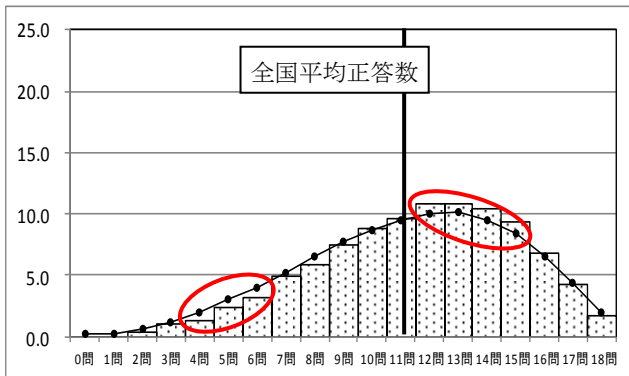
○ 「知識」に関する問題

○ 「活用」に関する問題

平成25年度

【国語A】

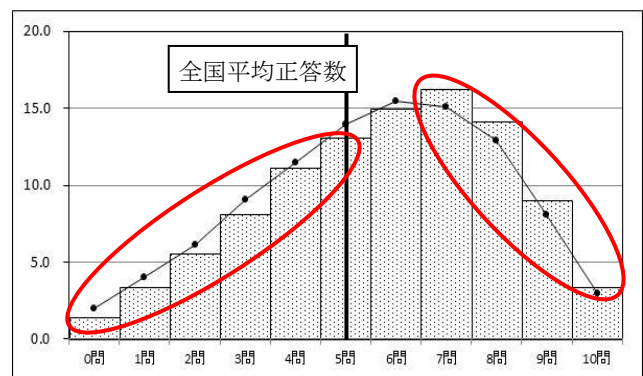
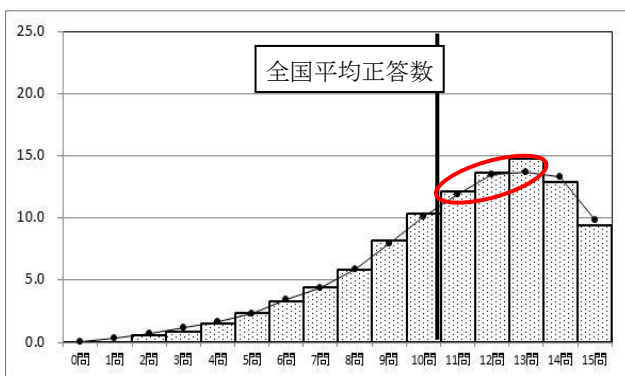
【国語B】



平成26年度


【国語A】

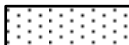

【国語B】



〔グラフについて〕

横軸は生徒が正答した問題数、縦軸は正答数ごとの生徒の割合（％）を示している。

 望ましい部分

凡例  山口県
 全国

【小学校 算数】

- 「知識」に関する問題については、ほぼ全国と同様の分布状況にあるが、全国と比べ正答数の多い児童の割合がやや高い。
- 「活用」に関する問題については、ほぼ全国と同様の分布状況にあるが、全国と比べ正答数の多い児童の割合がやや高い。

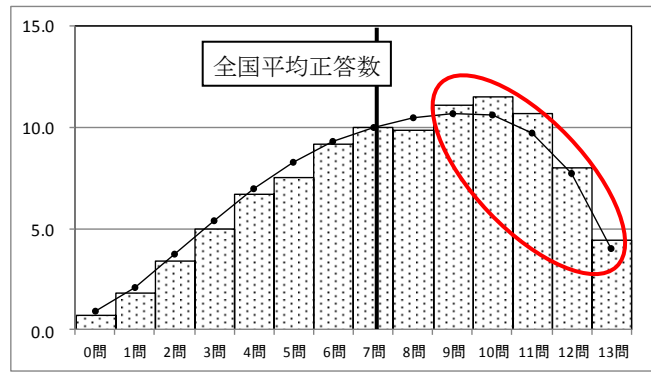
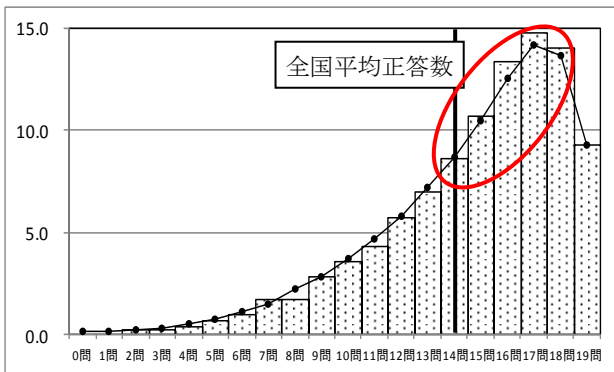
○ 「知識」に関する問題

○ 「活用」に関する問題

平成25年度

【算数A】

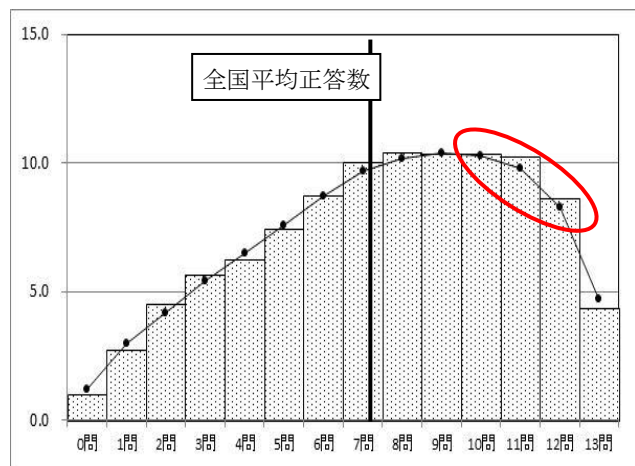
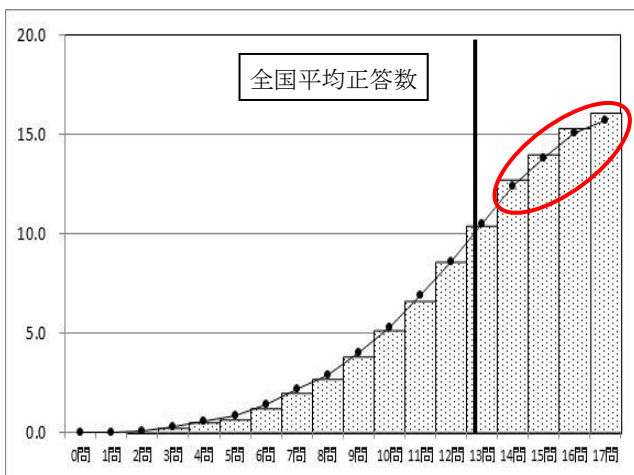
【算数B】



平成26年度

【算数A】

【算数B】



【中学校 国語】

- 「知識」に関する問題については、ほぼ全国と同様の分布状況にあるが、全国と比べ正答数の多い生徒の割合がやや高い。
- 「活用」に関する問題については、ほぼ全国と同様の分布状況にあるが、全国と比べ正答数の多い生徒の割合がやや高く、正答数の少ない生徒の割合が低い。

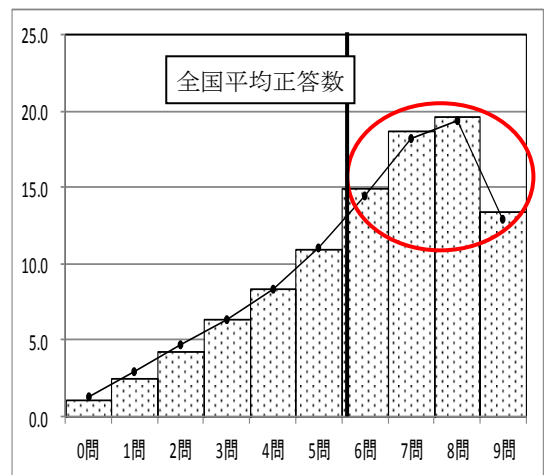
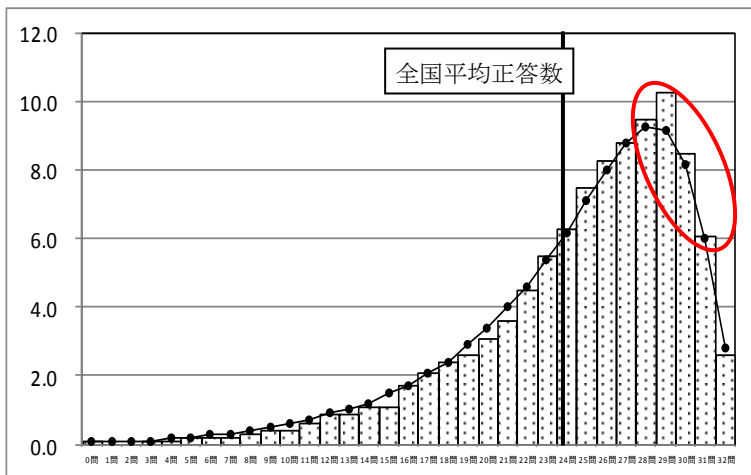
○ 「知識」に関する問題

○ 「活用」に関する問題

平成25年度

【国語A】

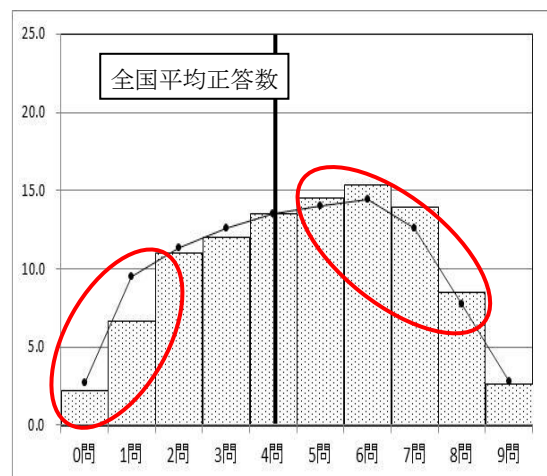
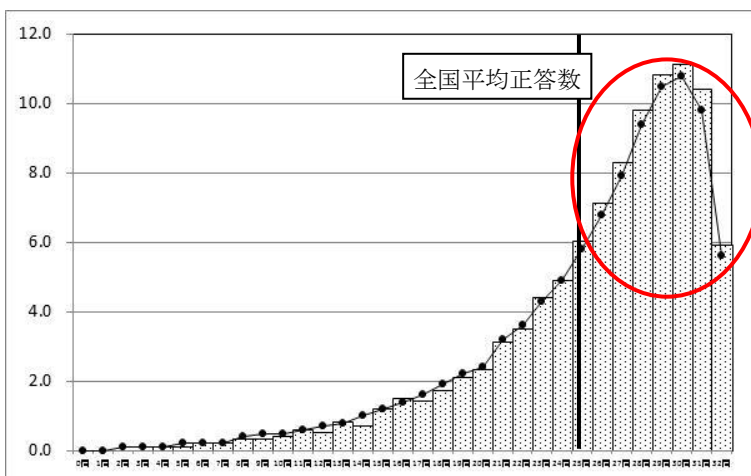
【国語B】



平成26年度

【国語A】

【国語B】



【中学校 数学】

- 「知識」に関する問題については、全国と比べ正答数の多い生徒の割合が高く、正答数の少ない生徒の割合が低い。
- 「活用」に関する問題については、全国と比べ正答数の多い生徒の割合が高く、正答数の少ない生徒の割合が低い。

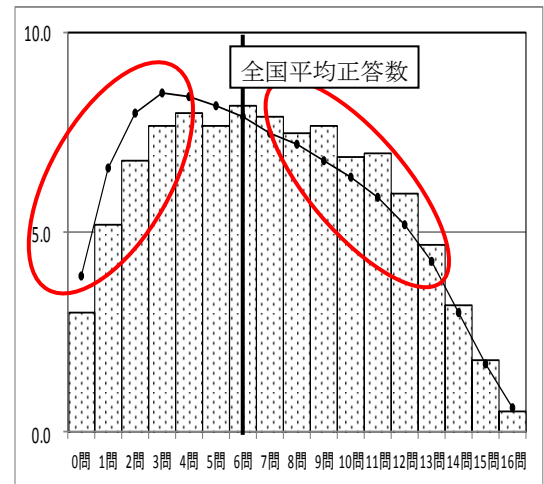
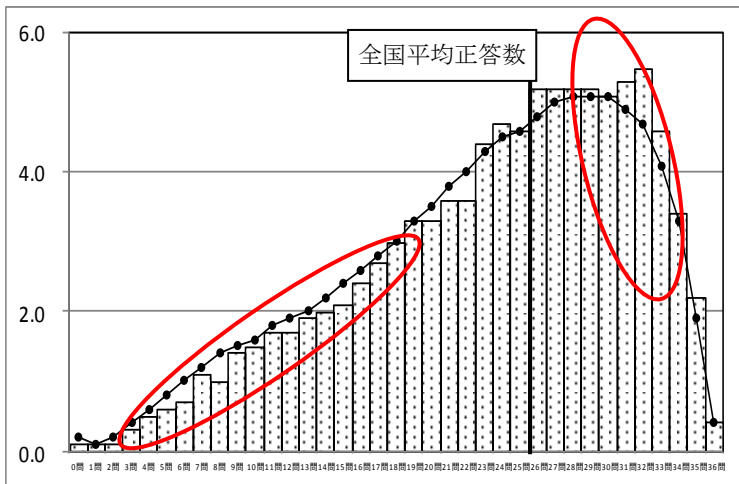
○ 「知識」に関する問題

○ 「活用」に関する問題

平成25年度

【数学A】

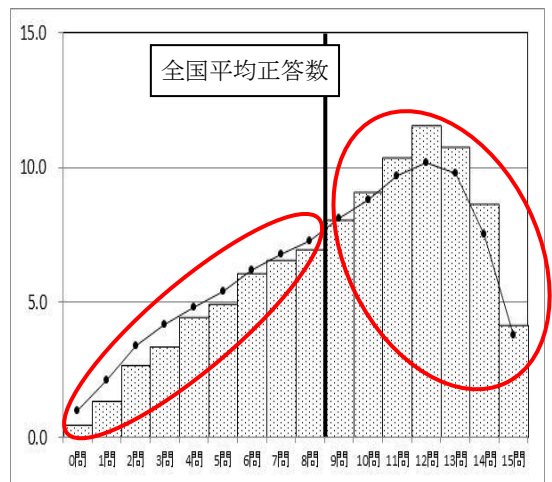
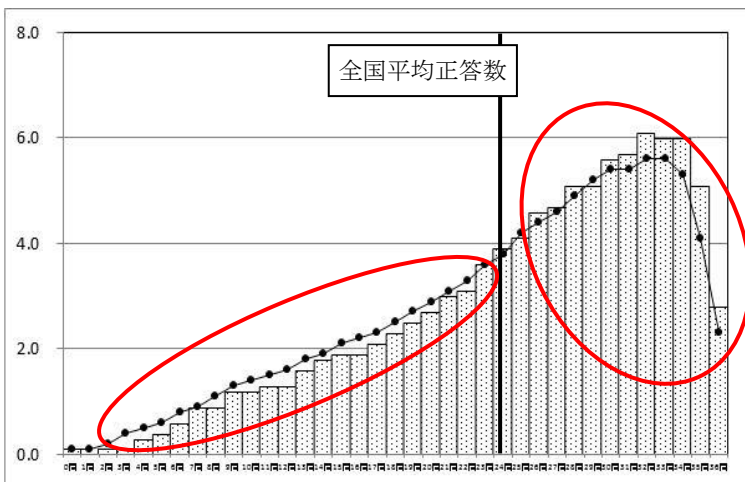
【数学B】



平成26年度

【数学A】

【数学B】



カ 各教科の特徴

○ 小学校国語

国語Aについては、平均正答率が73.6%であり、全国平均を上回っているものの、知識・技能の定着にやや課題が見られる。国語Bについては、平均正答率が57.8%であり、全国平均を上回っているものの、知識・技能の活用に課題が見られる。

【相当数の児童ができている点】

- (A) 第5学年までに学習した漢字を読むこと、書くこと
- (A) 文の意味のつながりを捉え、仮定の表現を用いて適切な文に書き直すこと

【課題のある点】

- (A) 故事成語の意味と使い方を理解すること、新聞の投書を読み、表現の仕方を捉えること
- (B) 立場や根拠を明確にして、質問や意見を書くこと

○ 小学校算数

算数Aについては、平均正答率が79.5%であり、全国平均を上回っているものの、知識・技能の定着にやや課題が見られる。算数Bについては、平均正答率が58.6%であり、全国平均を上回っているものの、知識・技能の活用に課題が見られる。

【相当数の児童ができている点】

- (A) 整数や分数の四則計算をすること
- (B) 示された場面から計算の結果の見通しをもち、(2けたの数) × (1けたの数) の筆算をすること

【課題のある点】

- (A) 割合が1より小さい場合でも、比較量が(基準量) × (割合) で求められることを理解すること
- (B) 示された情報を基に、畳の敷き方を図示すること、示された情報を整理し、筋道を立てて考え、小数倍の長さの求め方を記述すること

○ 中学校国語

国語Aについては、平均正答率が80.7%であり、成果が見られた。国語Bについては、平均正答率が52.4%であり、全国平均を上回っているものの、知識・技能の活用に課題が見られる。

【相当数の生徒ができている点】

- (A) 文脈に即して漢字を正しく読むこと
- (A) 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うこと

【課題のある点】

- (A) 目的に沿って話し合い、互いの発言を検討すること
- (B) 資料から適切な情報を得て、伝えたい事実や事柄が明確に伝わるように書くこと

○ 中学校数学

数学Aについては、平均正答率が70.3%であり、全国平均を上回っているものの、知識・技能の定着にやや課題が見られる。数学Bについては、平均正答率が62.6%であり、全国平均を上回っているものの、知識・技能の活用に課題が見られる。

【相当数の生徒ができている点】

- (A) 単項式どうしの除法 ($10xy \div 5x$) を行うこと、等式の性質と移項の関係を理解すること
- (B) 空間における位置に関する情報を適切に読み取ること

【課題のある点】

- (A) 図形の回転移動において辺や角の対応を読み取ること、円柱と円錐の体積の関係や関数の意味を理解すること
- (B) 証明の過程や結論を基に、新たに図形の性質を見出すこと

③-(1) 具体的な問題と解答状況 ー小学校国語ー

○相当数の児童ができている点

【小学校 国語A】

○ 第5学年までに学習した漢字を読むこと、書くことについて、正答率が高い。

1 ー _____ 部の漢字の読みを、ひらがなでていねいに書きましょう。

(1) 道路の 標識 を見る。

【正答】 1 ー (1) ひょうしき

	正答率
山口県	92.0%
全 国	91.7%

1 二 _____ 部のひらがなを、漢字でていねいに書きましょう。

(1) 料理をのせた さら を運ぶ。

【正答】 1 二 (1) 皿

	正答率
山口県	97.9%
全 国	97.8%

【小学校 国語B】

○ 文の意味のつながりを捉え、仮定の表現を用いて適切な文に書き直すことについて、正答率が高い。

6 黒木さんは、次の【きのうの出来事】についての文章を書いたあと、読み返して、適切な表現にしようとしています。あとの一と二の問いに答えましょう。

【きのうの出来事】

わたしは、きのうの夜、母に注意されたのに、おそくまでテレビを見たり、音楽を聞きま
した。そのため、夜にねむれなくなりました。このようなことになったのは、母の
注意に耳をかたむけていたらよかったと反省しました。

二 ~~~~ 部は、そのあとに続く「母の注意に耳をかたむけていたらよかったと反省しました。」
という内容に対して、適切な表現ではありません。 ~~~~ 部を書き直すときに使うこと
ができる言葉を、1から5までの中から三つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 なるならば
- 2 なるし
- 3 なるのに
- 4 なるのだったら
- 5 なるのであれば

	正答率
山口県	85.1%
全 国	83.1%

【正答】 6 二 1、4、5

● 課題のある点
【小学校 国語A】

● 故事成語の意味と使い方を理解することについて課題がみられる。

2 一

2 二

【正答例】 2 一 3
2 二 2

2 一

	正答率
山口県	50.6%
全 国	55.8%

2 二

	正答率
山口県	49.7%
全 国	49.9%

【小学校 国語A】

2

次の一と二の故事成語の使い方として最もふさわしいものを、1から3までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましよう。

一 「五十歩百歩」

1 姉と私は、残りのケーキをどちらが食べるのかでもめていた。すると、母が私たちを注意して、もめごとに関係のない弟に食べさせた。弟にとっては、五十歩百歩だ。

2 私たちの学級では、学年で行われる学級対抗ドッジボール大会での優勝をめざして、ほかの学級よりもずっと前から練習を始めた。だから、優勝できたのは、五十歩百歩だ。

3 山口さんと川島さんが、学校で出された宿題を五回忘れたのか、六回忘れたのかで言い争っていた。このようなことで言い争う二人は、五十歩百歩だ。

二 「百聞は一見にしかず」

1 友達野村さんは、先生の説明のはじめの部分の話を聞くと、結論まで見通すことができるという。百聞は一見にしかずということができるとだ。

2 私は、夕日が美しいことで有名な海岸を訪れ、その美しさを自分の目で見て実感することができた。まさに百聞は一見にしかずだ。

3 私は、人からいろいろと細かく注意されるのがいやだ。しかし、友達に百聞は一見にしかずだと助言されたので、そのことをよく考えてみようと思う。

4

【正答例】 4 4

	正答率
山口県	70.1%
全 国	71.7%

4

新聞には、読者からの投書（自分の意見や希望などを書いて送ること。また、その文章）がのせられているものがあります。次の「投書」の書き手は、自分の意見や希望などをどのように書いていますか。その説明として最もふさわしいものを、1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

【投書】

命の大切さは同じ

小学生 西田夏子
(〇〇市 12才)

先日、近くの公園へ遊びに行ったとき、ねこの鳴き声が聞こえてきました。鳴き声のする方へ近づくと、小さな箱があり、その中にねごがいました。そのねごは、ふるえていました。それを見て、わたしはかわいそうにたまらなくなりました。ねごは、すてられたのでしょうか。もしすてられたのであれば、

飼い主の人は、どうしてすてたのでしょうか。ねごは小さな生き物ですが、命の大切さはわたしたち人間と同じだと思います。これは、ねごに限ったことではありません。動物を飼う人には、その動物の命の大切さをきちんと理解して飼ってほしいと思います。

1 複数の情報を比べ、内容のちがいに注目して書いている。

2 昔から伝わることわざや、言い伝えを引用して書いている。

3 自分の考えに反対する具体的な意見を取り上げて書いている。

4 自分が実際に体験したことをもとにして書いている。

● 新聞の投書を読み、表現の仕方を捉えることに課題がみられる。

● 立場や根拠を明確にして、質問や意見を書くことに課題がみられる。

1 三

【正答例】 1 三
 (大野さんの発言に対して)質問(があります。)
 「去年の卒業文集には読みにくいところがありました」と言いましたが、どの部分が読みにくかったのですか。また、文字以外に読みにくいところはありましたか。(94字)

	正答率
山口県	30.6%
全国	28.3%

【討論会の様子】：①・②・③・④・⑤の発言の内容は、あとの問いと関係があります。

司会 これから討論会を始めます。今回の議題は、「卒業文集はパソコンを使うか、手書きにするか」ということです。ではまず、パソコンを使う立場からの主張をお願いします。

丸山 ①はい。ぼくは、パソコンを使う方がよいと思います。手書きは、文字を書いたり消したりするのがめんどろだからです。パソコンであれば、何度でも簡単に書き直すことができますので、作業に取り組みやすいと思います。

大野 ②私もパソコンを使う方がよいと思います。記念に残る卒業文集なので、読みやすくつくるべきだと考えます。手書きだった去年の卒業文集には読みにくいところがありました。パソコンであれば、文字が上手かどうかに関係なく、文字の形や大きさがそろっているので、読みやすくなります。

司会 ほかにありませんか。(発言がないことを確かめて)ないようであれば、次に、二つ目の「記念に残る卒業文集のあり方」について、質問や意見をお願いします。

あなた

大野さんの発言に対して があります。

イ

三 あなたは、「討論会の様子」の中の のところで、大野さん②の発言に対して、手書きの立場から「質問」か「意見」かのどちらかを述べます。解答用紙の の中に「質問」か「意見」かのどちらかを選んで書き、その内容を次の条件に合わせて書きましょう。

(条件)

- 大野さん②の発言の中の言葉を、「」を使って引用して書くこと。なお、「」の中に引用する言葉は二十五字以内とする。
- 書き出しの文に続けて、八十文字以上、百字以内にとめて書くこと。なお、書き出しの文は字数にふくむ。

1 第一小学校の六年生の学級では、「卒業文集はパソコンを使うか、手書きにするか」という議題で、それぞれの立場に分かれて討論会を行っています。次は、そのときの「討論会の様子」です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【参考】

類似過去問題

平成24年度 全国学力・学習状況調査 小学校国語Bより

2 二

【正答例】 2 二
 「満足している」の割合をみると、中学二年生の二十九%に対して、中学三年生はそれより十五%も高くなっています。そのことから、中学三年生に「どのような理由で満足度が高くなるのですか。」と質問をしたいです。(100字)

	正答率
山口県	54.7%
全国	52.6%

二 ②白石(司会)さんは、グループの人たちに、資料「部活動に対する満足度」をもとにして、中学生に対する質問を出してもらおうとしています。あなたなら、 のところでどのような質問を考えて発表しますか。次の条件に合わせて書きましょう。

(条件)

- 資料の中の中学二年生の割合と中学三年生の割合を比べてちがうこと、あるいは両方に共通していることを取り上げて、質問をしたいことをはっきりと書くこと。(割合については、「%」と表記してもよい。)
- 六十文字以上、百字以内にとめて、発表するように書くこと。

③-② 具体的な問題と解答状況 ー小学校算数ー

○相当数の児童ができている点

【小学校 算数A】

○ 整数や分数の四則計算をすることについて、正答率が高い。

1

(1) $46 + 57$

【正答】 1 (1) 1 0 3

	正答率
山口県	97.4%
全 国	96.9%

(2) 903×6

【正答】 1 (2) 5 4 1 8

	正答率
山口県	93.5%
全 国	92.8%

(4) $2 \div 5$

(わりきれぬまで計算して、商を小数で書きましょう。)

【正答】 1 (4) 0. 4

	正答率
山口県	92.3%
全 国	91.8%

(6) $\frac{1}{3} + \frac{2}{5}$

【正答】 1 (6) $\frac{11}{15}$

	正答率
山口県	92.9%
全 国	90.6%

【小学校 算数B】


○ 示された場面から計算の結果の見通しをもち、2桁の数×1桁の数の筆算をすることについて、正答率が高い。

1(1)


問題

□の中にいろいろな数を入れて、「 $37 \times \square$ 」の計算をしましょう。

$$\begin{array}{r} 37 \\ \times \square 1 \\ \hline 37 \end{array} \quad \begin{array}{r} 37 \\ \times \square 2 \\ \hline 74 \end{array} \quad \begin{array}{r} 37 \\ \times \square 3 \\ \hline 111 \end{array}$$

37×3の積は111となって、同じ数字が3つ並びます。  さとし

$$\begin{array}{r} 37 \\ \times \square 4 \\ \hline 148 \end{array} \quad \begin{array}{r} 37 \\ \times \square 5 \\ \hline 185 \end{array} \quad \begin{array}{r} 37 \\ \times \square 6 \\ \hline 222 \end{array}$$

37×6の積は222となって、同じ数字が3つ並びます。  さとし

さらに、□の中に「7」、「8」、「9」を入れて計算し、横に同じ数字が並ぶかどうかを調べます。
横に同じ数字が並ぶ計算を、下の1から3までのの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

【正答】 1 (1) 3

1

$$\begin{array}{r} 37 \\ \times \square 7 \\ \hline \end{array}$$

2

$$\begin{array}{r} 37 \\ \times \square 8 \\ \hline \end{array}$$

3

$$\begin{array}{r} 37 \\ \times \square 9 \\ \hline \end{array}$$

	正答率
山口県	95.1%
全 国	94.6%

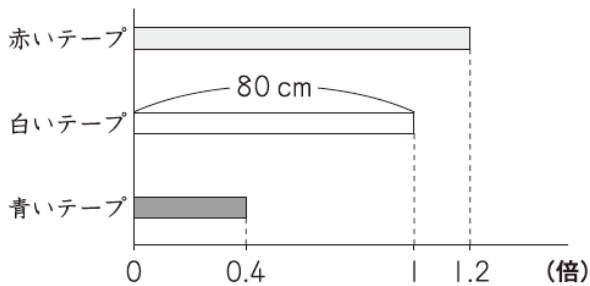
●課題のある点

【小学校 算数A】

- 割合が1より小さい場合でも、比較量が（基準量）×（割合）で求められることを理解することに課題が見られる。

2

下の図のように、白いテープの長さをもとにして、赤いテープと青いテープの長さを表しました。



(2) 青いテープの長さを求める式を、下の 1 から 4 までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 $80 + 0.6$
- 2 $80 - 0.6$
- 3 80×0.4
- 4 $80 \div 0.4$

【正答】 2 (2) 3

	正答率
山口県	55.5%
全国	54.1%

【参考】類似過去問題 平成24年度 全国学力・学習状況調査 小学校算数Aより

3

赤いテープと白いテープについて次のことがわかっています。

赤いテープの長さは120cmです。
赤いテープの長さは白いテープの長さの0.6倍です。

【正答例】

3 (2)
式 $120 \div 0.6$

(2) 白いテープの長さを求める式を書きましょう。
ただし、計算の答えを書く必要はありません。

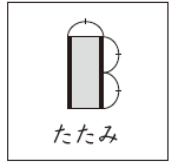
	正答率
山口県	42.1%
全国	41.1%

【小学校 算数B】

● 示された情報を基に、畳の敷き方を図示することに課題が見られる。

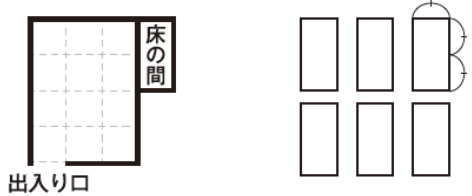
5

(1) さゆりさんは、たたみのしき方について考えています。
 さゆりさんの地域のたたみの形は長方形で、たたみの長い辺は、短い辺の2倍の長さです。
 また、たたみのしき方には下の3つの約束があります。



- 約束1 床の間にたたみの長い辺を合わせる。
- 約束2 出入り口にたたみの長い辺を合わせる。
- 約束3 たたみの4つの角が1か所に集まらないようにする。

さゆりさんは、たたみのしき方を、上の3つの約束をもとに、次のような部屋の図と長方形の板を6枚使って考えます。



部屋の図の1マスは、長方形の板の短い辺を1辺とする正方形です。

まず、約束1と約束2をもとに、次のように2枚の板を置きました。



残り4枚の板をどのように置けばよいですか。解答用紙の図の-----をなぞって、かきましょう。

【正答例】 5 (1)

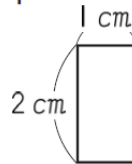
	正答率
山口県	66.9%
全国	69.4%

【参考】類似過去問題 平成21年度 全国学力・学習状況調査 小学校算数Bより

4

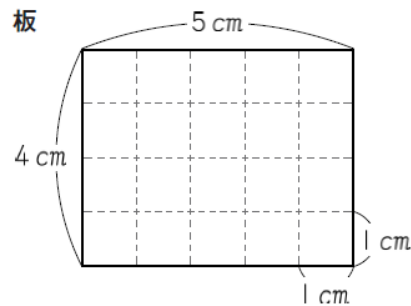
下のようなたてが2 cm, 横が1 cmの長方形のカードがあります。このカードを, いろいろな大きさの長方形の板に, はみださないように, すきまなくしきつめます。

カード



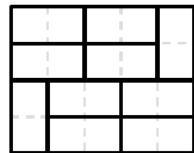
*

(1) 下のようなたてが4 cm, 横が5 cmの長方形の板に, カードをすきまなくしきつめます。



上の長方形の板にカードをすきまなくしきつめるとき, どのようなしきつめ方がありますか。解答用紙の図の ----- をなぞって, 2通りかきましよう。また, この長方形の板にカードをすきまなくしきつめるには, カードは何枚必要ですか。答えを書きましよう。

【正答例】 4 (1)



【答え】 10枚

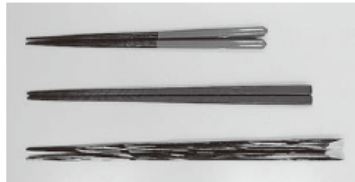
	正答率
山口県	77.1%
全国	79.1%

【小学校 算数B】

- 示された情報を整理し、筋道を立てて考え、小数倍の長さの求め方を記述することに課題が見られる。

5

まことさんは、使いやすいはしの長さのめやすについて発表します。

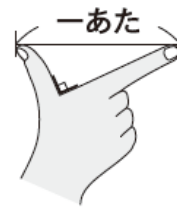


使いやすいはしの長さのめやす

使いやすいはしの長さのめやすは、「^{ひと}一あた半」と言われています。

一あたは、親指と人差し指を直角に広げたときのそれぞれの指先を結んだ長さです。

一あた半は、一あたを1.5倍した長さです。



(3) まことさんの発表を聞いて、なつきさんは妹のはしを買いに行こうと思いました。

なつきさんは一あたの長さについてさらに調べ、下のことがわかりました。

一あたは、身長の約10%の長さです。

妹の身長は140 cmです。

妹の身長と、左の使いやすいはしの長さのめやすをもとに、一あた半の長さを求めると、はしの長さは約何cmになりますか。求め方を言葉や式を使って書きましょう。また、答えも書きましょう。

【正答例】 5 (3)

【求め方】 まず、妹の一あたの長さを求めるために、妹の身長の10%の長さを計算します。 $140 \times 0.1 = 14$ で、約14cmになります。次に、妹のはしの長さを求めるために、妹の一あたの長さを1.5倍します。 $14 \times 1.5 = 21$ で、約21cmになります。

【答え】 (約) 21cm

	正答率
山口県	33.7%
全国	33.0%

③-③ 具体的な問題と解答状況 ー中学校国語ー

○相当数の生徒ができている点

【中学校 国語A】

○ 文脈に即して漢字を正しく読むことについて、正答率が高い。

8 二 文中の_____線部の漢字の正しい読みをひらがなでいねいに書きなさい。

3 新記録に挑む。

【正答】 8 二 3 いど（む）

	正答率
山口県	95.5%
全 国	95.2%

【中学校 国語A】

○ 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことについて正答率が高い。

8 三 次のアからキの文では、（ ）の中の1から4までのうち、どれが最も適切ですか。それぞれ一つずつ答えなさい。

イ 先のことは分からないが、

（ 1 とりあえず 2 思いがけず 3 覚えず 4 知らず知らず ）

準備だけはしておこう。

【正答】 8 三 イ 1

	正答率
山口県	96.9%
全 国	96.2%

●課題のある点
【中学校 国語A】

● 目的に沿って話し合い、互いの発言を検討することに、課題がみられる。

6 -

【黒板】にある相違点の欄の に当てはまる言葉を、高橋さんの発言の中にある言葉を使って、六字以内で書きなさい。

題名の候補について

候補	メモリー ～いつも隣に友がいた～	はばたき ～きずなを胸に～
整理	学級の団結力	
共通点		
相違点	過去の思い出	<input type="text"/>

【黒板】
【話し合いの一部】
6 岩田さんの学級では、卒業文集の題名を決めています。次は、話し合いの内容を整理した【黒板】と【話し合いの一部】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

前回、題名の候補を「メモリー～いつも隣に友がいた～」と「はばたき～きずなを胸に～」に絞りました。今日は、題名を決定します。まず、それぞれの題名の推薦者から再度意見を聞きます。そして、話し合ってください。それでは、南さんからお願いします。

岩田さん（司会）

「メモリー～いつも隣に友がいた～」がよいと考えます。修学旅行や合唱などの思い出を記録するのが文集だからです。読み返すたびに楽しかった過去を思い出すごでしよう。また、副題から、学級でいつも団結できたことも表せます。

南さん

「はばたき～きずなを胸に～」を推薦する理由は二つあります。一つめは、未来にはばたいていく私たちの姿を表す題名だからです。二つめは、何事も団結して取り組んだ学級のこと「きずな」という言葉に込められているからです。

高橋さん

【正答例】 6 - 未来の姿（4字） 私たちの未来（6字）

	正答率
山口県	54.1%
全国	54.3%

● 資料から適切な情報を得て、伝えたい事実や事柄が明確に伝わるように書くことに課題がある。

2 三

2

【本の一部】

次は、接着剤について書かれた「本の一部」と「インターネットの情報の一部」です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。



接着剤を塗ると、凹凸のすき間に接着剤が入り込みます。そして、すき間に入った接着剤が固まることで物がくっつきます。これをアンカー効果といいます。アンカーとは船の錨のことです。接着剤が物をくっつける仕組みを、海の底に錨を下ろし船を留めておく様子に例えて、そう呼んでいます。つまり、液体の状態での表面に広く行き渡った接着剤が、すき間に入って固体となることで、物と物をくっつけているのです。

次に、接着剤が液体から固体になる変化について考えてみましょう。

接着剤が液体から固体になる変化には、いくつかの種類があります。例えば、工作用のりや木工用接着剤は、接着剤の中に水分や溶剤を含んでいて、それらが蒸発することで固まります。水分を含んでいない切手の場合も同様で、切手の裏側のりの部分は、ぬらすことで液体の接着剤になり、やがて固まります。つまり、接着剤に含まれる水分や溶剤が蒸発することで、接着剤が液体から固体になる点で共通しています。また、アイロンでくっつけるタイプの場合は、固まっていた接着剤がアイロンの熱によって溶けていったん液体になり、それが冷えて固体になることでくっつきます。このように、熱を加えて接着剤を一度溶かし、その後、液体が冷えて固まることでくっつく接着剤をホットメルト接着剤といいます。他にも、液体が化学変化を起こして固体になるものがあります。例えば、瞬間接着剤はその例です。物の表面には、乾いているように見えてもわずかに水分が含まれています。また、空気中にも水分が含まれています。瞬間接着剤は、それらの水分に反応し、非常に速いスピードで固体に変化するので、最後に、接着剤がどのような場面で使用されているか考えてみましょう。

接着剤の用途を調べると、思いもよらないものに接着剤が使用されていることに気がきます。例えば、飛行機やスペースシャトルの機体の組み立てには接着剤を使用しています。電子部品を作る際にも、金属の粉などを混ぜた接着剤を使用することがあります。また、つり橋の中には、橋を支えているロープを、コンクリートでできた土台の中に接着剤で固定している橋もあります。このように、現代において接着剤は、様々な場面で使用されています。

(注1) 溶剤は物質を溶かすのに用いる液体状のもの。

(注2) アップリケー布地の上に、別に切り抜いた布や紙を縫い付けたり、貼り付けたりする手法。また、その付けられたもの。

※ 「インターネットの情報の一部」は、次のページにあります。

三 封筒に貼ってある切手を水の中にしばらく浸しておく、きれいにはがすことができるようになります。その理由を次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 「切手」、「液体」、「アンカー効果」という言葉をすべて使って書くこと。

条件2 二十字以上、五十字以内で書くこと。

【正答例】 2 三

切手を水に浸すことで、固体となっていたのりが液体となり、アンカー効果がなくなるから。

	正答率
山口県	29.7%
全国	28.4%

【参考】類似過去問題 平成24年度 全国学力・学習状況調査 中学校国語B²より

おばあちゃんへ

デジタルカメラのシャッターボタンの押し方をまどめましたので、参考にしてください。

上手に撮れたら写真を送ってくださいね。

カメラにおまかせで撮る

1 シャッターボタンを半押しして被写体にピントを合わせる。

被写体にピントが合うと「ピピッ」と音がして、オートフォーカスフレーム（画面中央の四角い枠）が緑に点灯する。次のような場合は、ピントが合いにくいことがある。
 (例) ・ 動きの速い被写体
 ・ 近距離の被写体

なお、ピントが合わないときオートフォーカスフレームが赤く点灯するので、指を離してからもう一度半押しする。

2 シャッターボタンを全押しして撮影する。

シャッター音がして写真が撮影される。シャッターボタンを押すときは、カメラが動いて手ブレが起きないように、静かに押し込む。

2
 中村さんは、離れて着る祖母から「デジタルカメラで上手に写真を撮れない。シャッターボタンの押し方を教えてほしい」と相談を受けました。そこで、次の「使用説明書の一部」を参考に、祖母に分かりやすい説明書を作ろうと「祖母向けの説明書の下書き」を書いていきます。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【使用説明書の一部】

三 【祖母向けの説明書の下書き】の□には、どのような説明を加えたらよいですか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 「緑」、「赤」、「ピピッ」という言葉をすべて使って書くこと。

条件2 六十字以上、八十字以内で書くこと。

【正答例】 2 三

ピントが合うと「ピピッ」と音がして、画面中央の四角い枠が緑になります。ピントが合っていないと四角い枠が赤になるので、指を離してからもう一度押し直してください。

	正答率
山口県	70.6%
全国	68.4%

③-(4) 具体的な問題と解答状況 (中学校数学)

○相当数の生徒ができている点

【中学校 数学A】

○ 単項式どうしの除法を行うことについて、正答率が高い。

2 (2) $10xy \div 5x$ を計算しなさい。

【正答】 2 (2) $2y$

	正答率
山口県	93.0%
全 国	91.1%

【中学校 数学A】

○ 等式の性質と移項の関係を理解することについて、正答率が高い。

3

(1) 一次方程式 $0.4x - 0.3 = 0.9$ は、次のようにして解くことができます。

$$\begin{aligned}
 0.4x - 0.3 &= 0.9 && \cdots\cdots\text{①} \\
 4x - 3 &= 9 && \cdots\cdots\text{②} \\
 4x &= 9 + 3 && \cdots\cdots\text{③} \\
 4x &= 12 && \cdots\cdots\text{④} \\
 x &= 3 && \cdots\cdots\text{⑤}
 \end{aligned}$$

移項が行われているのは、どの式からどの式に変形するときですか。下のアからエまでの中から正しいものを1つ選びなさい。

- ア 式①から式②に変形するとき
- イ 式②から式③に変形するとき
- ウ 式③から式④に変形するとき
- エ 式④から式⑤に変形するとき

【正答】 3 (1) イ

	正答率
山口県	90.8%
全 国	89.7%

【中学校 数学B】

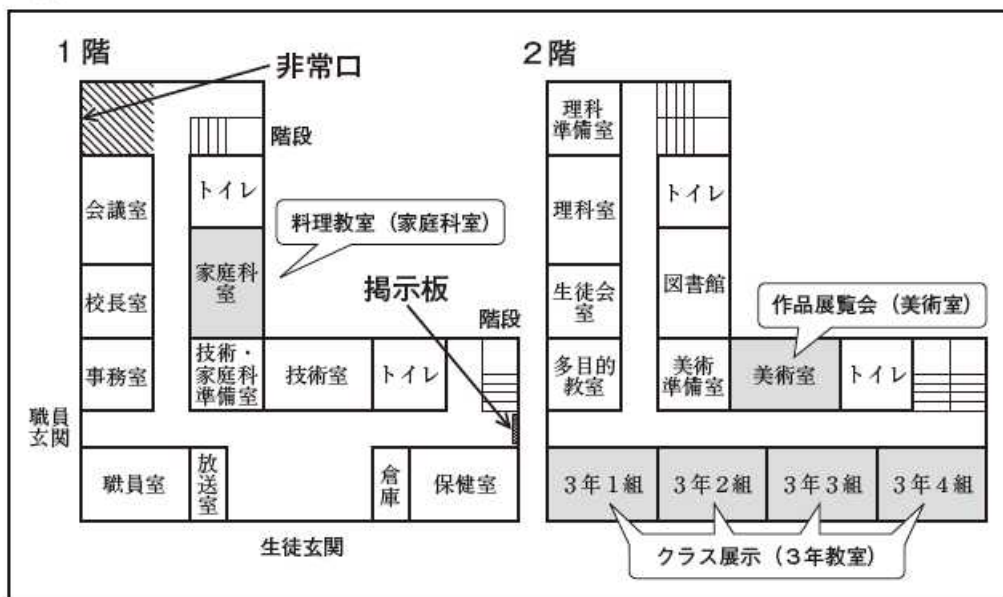
- 日常的な事象を表した図を観察し、空間における位置に関する情報を適切に読み取るについて、正答率が高い。

1

第一中学校では文化祭の準備をしています。実行委員の健太さんは、来客用のはり紙やパンフレットを作ったり、校舎に横断幕を取りつけたりします。

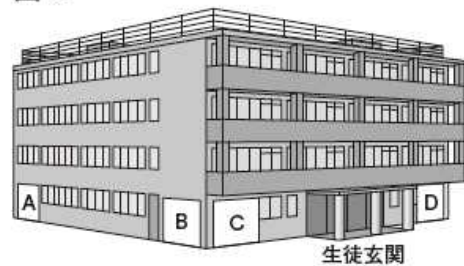
図1は校舎の1階と2階の案内図です。

図1



(2) 文化祭のパンフレットに、外から校舎を見た図2を使います。図1で示した非常口の位置が、図2のA, B, C, Dの中にあります。下のアからエまでの中から正しいものを1つ選びなさい。

図2



- ア Aの位置 イ Bの位置
ウ Cの位置 エ Dの位置

【正答】 1 (2) ア

	正答率
山口県	93.9%
全国	92.8%

●課題のある点

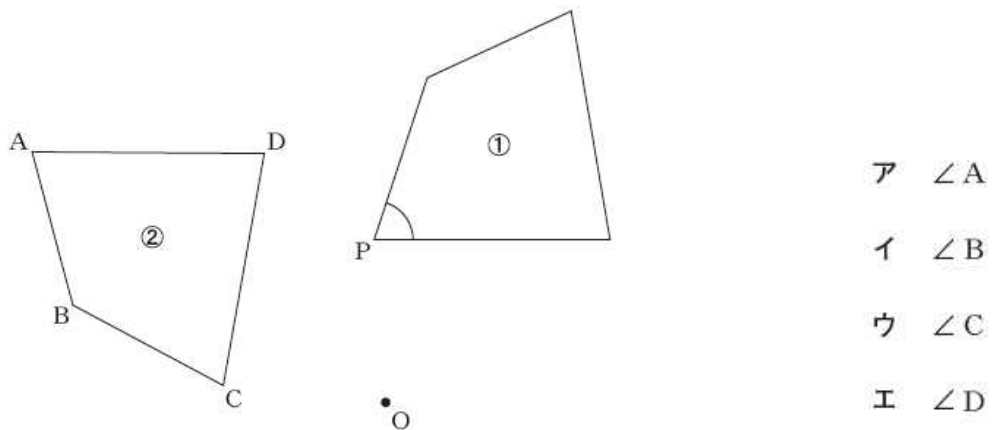
【中学校 数学A】

● 図形の回転移動において辺や角の対応を読みとることに課題がみられる。

4

(3) 次の図で、四角形②は、四角形①を点Oを中心として反時計回りに 80° だけ回転移動したものです。

四角形①の $\angle P$ に対応する四角形②の角を、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。



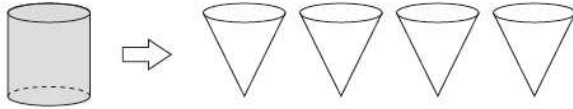
【正答】 4 (3) ウ

	正答率
山口県	45.3%
全国	42.5%

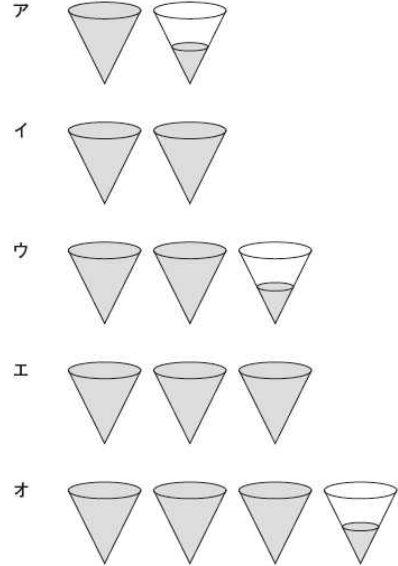
【中学校 数学A】

● 底面が合同で高さが等しい円柱と円錐の体積の関係について理解することに課題がみられる。

5 (4) 下の図は、円柱、円錐の形をした容器です。それぞれの容器の底面は合同な円で、高さは等しいことがわかっています。この円柱の容器いっぱいに入れた水を円錐の容器に移します。



このとき、下のアからオまでの中に、円柱の容器に入っていた水と同じ量の水を表している図があります。正しいものを1つ選びなさい。

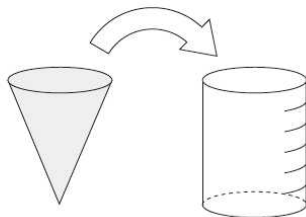


【正答】 5 (4) エ

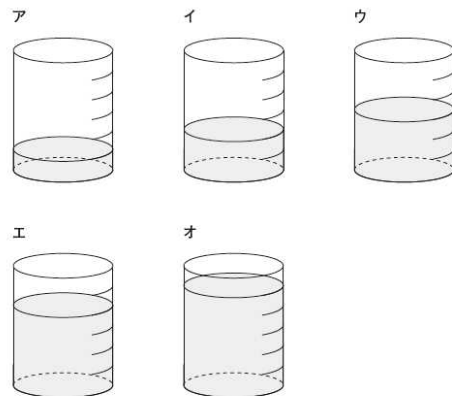
	正答率
山口県	41.4%
全国	38.7%

参考 類似過去問題 平成20年度全国・学力学習状況調査 中学校数学A 5 (2)

5 (2) 下の図は、円錐と円柱の形をした容器です。それぞれの容器の底面は合同な円で、高さは等しいことが分かっています。また、円柱の容器には高さを6等分した目盛りがついています。この円錐の容器いっぱいに入れた水を円柱の容器に移します。



下のアからオの中に、円錐の容器に入っていた水と同じ量の水を表している図があります。正しいものを1つ選びなさい。



【正答】 5 (2) イ

	正答率
山口県	52.6%
全国	51.4%

【中学校 数学A】

- 関数の意味を理解することに課題がみられる。

9 下の表は、ある運送会社の書類の宅配サービスの料金表です。

重量	100 g まで	250 g まで	500 g まで	1 kg まで
料金	150 円	190 円	270 円	320 円

このサービスで扱える書類の重量は 1 kg までです。

このとき、1 kg までの書類の重量と料金について、「重量を決めると、それにもなって料金がただ1つ決まる」という関係があります。

下線部を、次のように表すとき、 と に当てはまる言葉を書きなさい。

は の関数である。

【正答】 9

① 料金 ② 重量

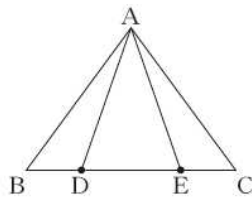
	正答率
山口県	36.9%
全 国	35.8%

【中学校 数学B】

- 証明の過程や結論を基に、新たに図形の性質を見出すことに課題がみられる。

4 (2)

下の図のように、 $AB = AC$ の二等辺三角形 ABC の辺 BC 上に $BD = CE$ となる点 D 、点 E をそれぞれとります。



次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

(2) $\angle BAC = 110^\circ$ 、 $BD = AD$ のとき、 $\angle DAE$ の大きさを求めなさい。

【正答】 4 (2) 40°

	正答率
山口県	24.1%
全 国	23.3%